

平成 24 (2012) 年度「NGO 長期スタディ・プログラム」最終報告書

提出日	2013 年 3 月 12 日
氏名	金城さつき
所属団体	特定非営利活動法人沖縄 NGO センター
受入機関名(所在国)	ブラジル沖縄県人会(ブラジル)
研修期間	2012 年 11 月 13 日～2013 年 2 月 26 日

研修テーマ	日系人と共に考える多文化共生についての教材作成と相互学習プログラムのためのネットワーク構築
全体研修目標	<ul style="list-style-type: none"> ・移民の歴史やブラジルをはじめとする南米の日系社会についての資料収集を行い、教材作成や学習プログラム考案につなげる。 ・ブラジル沖縄県人会をはじめとする日系関係団体や関心のある方々とつながり、沖縄・日本とブラジルの相互交流・学習に向けてのネットワーク構築につなげる。

具体的な研修内容

資料収集、インタビュー：

- ・個人インタビュー：1世(7名)、2世(6名)、3世(1名)、4世(1名)
- ・資料収集：文教図書館、ブラジル日本移民資料館、サンパウロ人文科学研究所、

企業、団体訪問：

- ・企業：ALCOESTE(農業器具、エタノール会社)、Grupo Okinawa(金物会社の組合)、COFEMA(金物関係)、経営者が沖縄県出身者、その子弟によるもの
- ・団体：うりずん会(沖縄県費留学生、市町村研修生 OB/OG 会)
- ・学校、教育関係：EXATUS(沖縄県系人の運営する学校)

その他、教育関係者へのインタビューを行った。その数は個人インタビューに含まれる。

勉強会：

- ・Ciclo de palestras filmes e debates(映画を通じてブラジル日系人について学ぶ勉強会)

その他：

- ・ウチナーグチ:EXATUS Uchinaguchi class
- ・サンシン教室：真喜屋弘琉球古典・民謡研究所、吉村高雄三線教室
- ・日本語教室(ブラジル沖縄県人会内)
- ・沖縄県人会支部訪問：スザノ支部、カザベールジ支部、サントアンドレー支部、サンタマリア支部、カンポグランジ支部、ピラカホン支部、イタリリー支部、サンマテウス支部、ジアデーマ支部：合計9支部
- ・ペルー訪問：ニーセーターツアー参加、1世、2世訪問、邦字新聞社 Presa Nikkei 訪問
- ・Kaeru projeto 訪問 [http://www.isec.org.br/projeto_kaeru.php]：日本からブラジルへ来た日系人子弟のための教育プロジェクト
- ・サンパウロ市外訪問

イタリリー、サントス、サンヴィセンチ、フェルナンドポリス

カンポグランジ(南マットグロソ州)、リオデジャネイロ(リオデジャネイロ州)、サルバドール(バイーア州)、オーロプレット(ミナスジェライス州)

研修の成果

資料館訪問、インタビュー、団体・県人会支部訪問等で情報収集を行った。1世、2世をはじめ、留学生・研修生OB/OGグループ「うりずん会」の若い人々(3世や4世)など幅広い人々の出会い、話をすることが出来た。世代、所属を超えてインタビューを行うことが出来たが、彼らの視点、考えが異なるため、移民学習の深さ・広がりを感じた。訪問予定していた方に加え、お会いした方から次の方へと紹介され、繋がりが広がっていった。また、サンパウロの邦字新聞(二社)に取材していただいたことから、新聞を見た県系人から声をかけていただき、資料を持ってきて下さる方もいらっしまった。短期間ではあったが、教材のための資料収集が出来た。

写真教材やインタビュー内容を読み物にするなどの教材化は進めているが、新たな参加型学習教材作成や新しいプログラムの構築まで至ることが出来なかった。たくさんのお話をうかがい、焦点をきちんと定めきれなかったことと、研修前に想定していたことが、現地では少々異なる部分があったことも影響した。教材開発を検討していた「うりずん会」のメンバーへ、これまでの沖縄での取り組みを紹介し、今回ブラジルに来た目的を共有することが出来た。今後、継続して教材・プログラム開発を行い、当会の教育活動へつなげていく予定である。その中で、ブラジルの方々の協力を得ながら進めていけるよう工夫したい。

年末年始に南マットグrosso州・カンポグランジにいらっしやる日系人を訪問した。サンパウロより小さな町で、旧植民地跡を回ったり、資料収集・インタビュー等を行った。カンポグランジは約80万人の人口の町で、近年開発が進み人口も増加しているということであるが、静かな町である。日系人は人口の2~3%と言われているが、日系人の70%は沖縄県系人であるという。市内を回ってもあちこちに沖縄県系人がいて、小さなコミュニティを形成している。近年では子弟がブラジルのあちこちに広がっているというが、みんなが親戚のような付き合いをしている印象を受けた。今回は短い滞在であったが、インタビューや舞踊教室の見学、県系人との交流、ブラジルのウチナーチュの正月を通して、ブラジルに残る沖縄というのを実感することができた。1世が少なくなりつつも1世が残した習慣や文化、教えを大切に残そうとする人々たちに出会い、その想いや「ブラジルに沖縄らしさが残る」ということを身を持って感じる事が出来た。一方で、それが失われていく危機感というものがあるようにも感じた。

2月19・20日に2回目のカンポグランジを再訪問した。1回目にカンポグランジを訪問した際、カンポグランジ沖縄県人会(支部)内にある日本語学校の関係者と移民学習について話をした。その際、校長先生が「移民劇をしたい」とおっしゃっていたのだが、じっくり話し合う時間がとれなかったため、再度訪問する事にした。移民劇といった背景、移民を学ぶことの目的と意義、目的を達成するためにすべきこと、できる事などを話した。今後は、ブラジル・沖縄と相互に移民について学ぶ環境、仕組みを作っていくために今後も継続して話し合いを進める予定である。ONCとしてどのように今後の活動につなげるかも考えていきたい。

1月16日から26日まで「ニーセーターツアー」が開催されるということでペルーを訪問した。

ニーセーターツアーとは、2007年南米4カ国(ペルー、アルゼンチン、ブラジル、ボリビア)の高校生・大学生が交流を深めながら自身のルーツを考えるスタディツアーである。毎年各国(ペルー、アルゼンチン、ブラジル、ボリビア)持ち回りで開催され、今年再度ペルーにもどり、ペルーでの2回目の開催となった。本事業の中でどのように移民について学習するのかを知りたく、ペルーを訪問した。

今年は南米4カ国の参加者に加え、ハワイからも1名の参加があった。10日間、沖縄やペルーの文化を体験したり、ペルーに来た移民の歴史を学んだりしながら交流を深めたようだ。ニーセーターツアーへの参加に加えて、ペルーの1世、2世へのインタビューなども行った。同じブラジルと異なる部分も多く見受けられた。国ごとの学習も整理していきたいと思う。

本研修成果の自団体の組織強化や活動の発展への活用方針、方法

教材作成・学習プログラムの構築

これまで移民・多文化共生について考えるための学習教材、学習プログラムを作成してきた。今後は、国・地域に焦点を当てた学習教材・プログラムを作成していきたいと考えている。今回の研修を受けて、ブラジルの移民、日本における多文化共生に関する教材・プログラムを作成していく。

- ・ 教材作成のための勉強会を開催し、関心のある方々と共にチームを形成し、教材作成を行う。
- ・ 教材を使用した講座や勉強会の開催、出前講座を行っていく。（弊団体事業、地球市民教育事業へ反映させる）

ブラジルとの移民学習

ブラジル沖縄県人会カンポグランジ支部内にある日本語学校と共に移民学習を行うことになった。今後、日本語学校の校長先生、教員、県人会役員を中心にブラジルと沖縄と共に相互・交流学习につなげられるような取り組みを行う。

- ・ 2014年カンポグランジ入植100年記念に向けて移民劇を作成する。
- ・ 通常の日本語学習の中に、移民や日本（沖縄）とのつながりを学ぶ時間を設ける。
- ・ 上記2点をふまえて当会としては、学習者・実践者の学習サポートを行う体制づくり。
- ・ 資料、教材の収集・共有を相互に行い、蓄積していくための仕組みづくり。

本プログラムや事務局側に対する提案、要望等

団体側が主体となり、派遣先の選定やプログラム内容を作り上げていくことができるため、団体の活動に添って考えられるプログラムでよかった。

事務局とのやり取りもスムーズで、派遣前、派遣中と迅速に対応してくださったので、とてもありがたかった。特に派遣前、ビザの発行手続等ではサポートしていただきとても助かった。

1点要望としては、派遣前に他のプログラム参加者と顔を合わせる機会があり、情報交換等ができる関係性作りができればよかったと思う。

その他



ブラジル移民が最初に到着したサントス港を訪問



ウチナープレスのヴァネッサ・チネンさん(左)インタビュー



家族で新年の年越しをします。普段合わないいとこや親せきなども集まります。



世代を超えて、文化を大切にしている。



ペルー沖縄県系人の資料アーカイブの取組みの話を伺い、聞き取りに同行させて頂いた。



ペルーにて、移民した方々の生活の様子を取材。



青少年スタディツアー「ニーセーターツアー」へ同行。ペルー、ボリビア、アルゼンチン、ブラジルで持ち回り開催し、4カ国の青少年たちが交流を深めながらルーツを探る。今年にはペルー開催。ハワイの女性も参加していた。参加者と共にペルー移民初上陸の地カニエテにて。



ペルー日系民資料館見学。



フェルナンドポリス市にある日系人企業を訪問した。



2世が運営する琉球古典・民謡研究所の設立15周年記念・第1回発表会の様子。ブラジルにおける沖縄文化の広がりや人材の育成に尽力している。



教員をやっているカツコ・コメスさんのクラス



カンボグランジにて移民学習の話し合い。

以上